

Express5800/320Fb-L, 320Fb-LR (N8800-110/111) Express5800/320Fb-M, 320Fb-MR (N8800-112/113) ご使用時の注意事項

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をご使用いただくにあたり、一部注意事項がございます。誠に恐れ入りますが、ご使用前に下記を必ずご一読いただき、ご注意くださいようお願い申し上げます。

なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

- 注意事項
- ユーザーズガイド補足事項

■注意事項一覧

1 UPDATE CD 適用のお願い

本装置を安定してご利用いただくために、初めてご使用になる際は必ず本体装置に添付のUPDATE CD適用手順書に従ってftドライバ(GeminiEngine Control Software)を更新してください。

また、本装置のOSをEXPRESSBUILDER CD-ROMで再セットアップする場合も、同様にUPDATE CDを適用して下さい。

2 バックアップソフトご使用時のご注意

- ARCserveなどのバックアップソフトウェアを使用してバックアップされたシステム情報を、フルリストア機能で書き戻す際に、本装置用のSCSIドライバが古いバージョンに置き換わっている場合があります。

バックアップソフトウェアのフルリストア機能を使用してシステム情報を戻したあとは、本体装置に添付のEXPRESSBUILDERを使用して以下の手順でSCSI Driverの更新を行ってください。



- 必ず手順にしたがって作業を行ってください。
- OSのインストール時に使用したローカルのアカウント(デフォルトではAdministrator)でログオンしてください。
- 装置のFTステータスランプが緑色に点灯し、二重化動作していることを確認した後にアップデートを行ってください。

- 1) EXPRESSBUILDER CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 2) スタートメニューより「ファイル名を指定して実行(R)」を選択します。
(「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。)
- 3) “名前(O)”欄に「D:¥HAS¥W2K3¥HASSETUP¥SCSI¥UPDATE.VBS」(D:はCD-ROMのドライブ文字)と入力し、「OK」をクリックします。
→ コマンドプロンプトが起動され、自動的に処理が実行された後、コマンドプロンプトが閉じられます。
- 4) インストール完了時に再起動が必要になります。CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出して再起動を行ってください。

■ ユーザーズガイド補足事項

1 システムのコンフィグレーション(4-6ページ) 下記を「重要」へ追記してください

- リモートマネジメントカードのIPアドレスをDHCPにより自動取得するか否かの設定について変更した際は、本体装置のACを一度OFF/ONする必要があります。
またEXPRESSBUILDERのシステムマネージメント機能、及び、DianaScopeAgentからDHCPによるIPアドレスの自動取得を行うか否かの設定を変更した場合も、同様に本体装置のACを一度OFF/ONする必要があります。

2-1 ftリモートマネジメントカードについて

- ftリモートマネジメントカードは、320Fb-M、320Fb-MRモデルのみ標準で取り付けられています。320Fb-L、320Fb-LRモデルは未搭載のため、以下の手順を参照して取り付けてください。それぞれのCPU/IOモジュールに、ftリモートマネジメントカードを各々1枚搭載する必要があります。

重要

- ・ 本体の電源がOFF(POWERランプ消灯)されていても、電源コードが接続されているだけで内部に電源が供給されています。ftリモートマネジメントカードの増設時には、必ずすべての電源コードをACインレットから抜いてから作業を行ってください。電源コードが接続されたまま行くと、本体および取り付けたボードが破損する恐れがあります。
- ・ ftリモートマネジメントカードは、専用のスロットにしか実装できません。PCIEXPRESS用スロットなど別のスロットに実装すると、本体および取り付けたボードが破損する恐れがあります。
- ・ ftリモートマネジメントカードは大変静電気に弱い電子部品です。サーバの金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからPCIボードを取り扱ってください。また、ボードの端子部分や部品を素手で触ったり、ボードを直接机の上に置いたりしないでください。静電気に関する説明は8-3ページで詳しく説明しています。
- ・ 作業を始める前に必ず「静電気対策について」(8-3ページ)、および「増設・交換の基本」(8-5ページ)の説明を読んでください。

チェック

増設したftリモートマネジメントカードには、装置固有のセンサー情報が書き込まれていないので、装置立ち上げ(POST)時に以下のメッセージを表示して一時停止します。NECのロゴ画面を表示して停止している場合には、この状態である可能性がありますので、ESCキーを入力しロゴ表示を消し診断メッセージを確認してください。

```
H/W Configuration of BMC is corrupted.  
!! Update BMC H/W Configuration by configuration tool !!  
!! Refer to BMC configuration manual !!
```

上記メッセージが表示された場合には、F1キーを押すかあるいは一定時間経ちますとPOSTが進みますので、サーバ本体添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをDVD-ROMドライブに入れ、EXPRESSBUILDERを起動させます。EXPRESSBUILDERのメインメニューから「Tools」→「Initialize Remote Management Card」を実行し装置固有のセンサ情報を書き込んでください。



2-2

取り付け

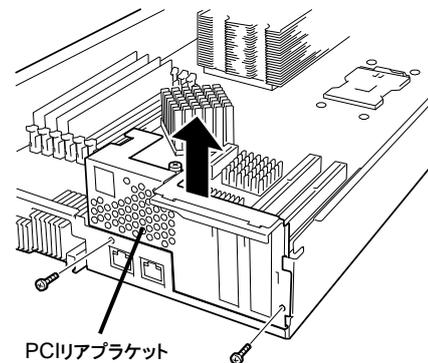
次の手順に従ってftリモートマネジメントカードの取り付けを行います。

1. 8-15ページを参照してCPU/IOモジュールを取り外す。

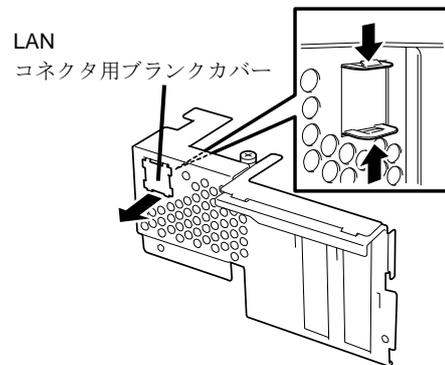
✓チェック

すでにCPU/IOモジュールにPCIボードが取り付けられているときは、8-34ページを参照して取り外してください。

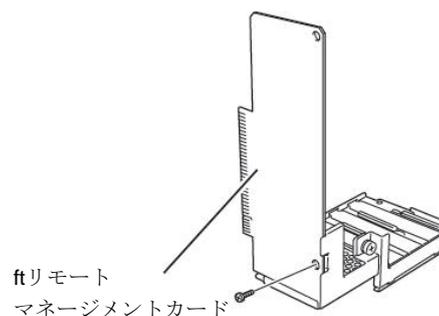
2. CPU/IOモジュールに標準で取り付けられているPCIリアブラケットをネジ(2本)を外して取り外す。



3. ftリモートマネジメントカードのLANコネクタ用ブラックカバーを取り外す。ブラックカバーの上下を手でつまめば、ロックが解除されて取り外すことができます。



4. PCIリアブラケットにネジ(1本)でftリモートマネジメントカードを取り付ける。



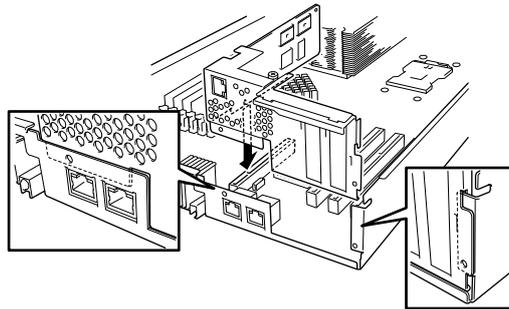
2-3

5. ft リモートマネジメントカード用スロットを確認し、スロットに差し込まれているコネクタキャップを取り外す。

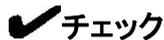


取り外したコネクタキャップは、大切に保管しておいてください。

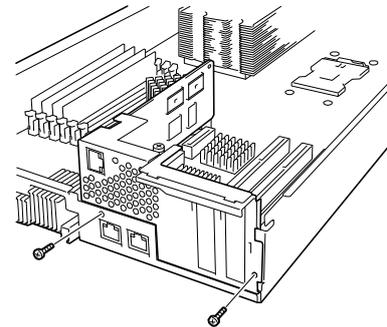
6. ft リモートマネジメントカードをマザーボード上のスロットとボードの接続部分を合わせてゆっくり差し込む。
7. カード接続部分がスロットに確実に接続するようしっかりとカードを押し込み、ネジ(2本)で固定する。



うまくカードを取り付けられないときは、カードをいったん取り外してから取り付け直してください。カードに過度の力を加えるとカードを破損するおそれがありますので注意してください。



手順1 でPCIボードを取り外したときは、8-33 ページを参照して取り付けてください。



8. 8-17ページを参照してCPU/IOモジュールを取り付ける。
9. 取り付けたCPU/IOモジュールのPOWERスイッチを押して電源をONする。

取り外し

ft リモートマネジメントカードの取り外しは、取り付けの逆の手順を行い、コネクタキャップを取り付けてください。

3 エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)について

■ 本FTサーバでサポートしている主な通報要因は以下となります。

- ・ CPU/IOモジュール縮退
- ・ ハードディスク異常(ミラーディスク縮退含む)
- ・ 温度異常
- ・ ファン異常
- ・ UPS異常(通報機能をサポートしたUPS管理ソフトウェア使用時)

※システムダウン後のリブート発生による通報は未サポートです。

